

地域版SDGs調査(市版)の考え方

住民視点でSDGsを考える

世界中で取り組まれているSDGs(持続可能な開発目標)。日本各地でもその取り組みが急務とされいながら、その内容は必ずしも住民の視点になっていません。

住民の悩みや、社会の課題を数値化

地域住民の視点で、「低収入」や「育児・子育て」「介護」など50項目に渡る生活環境における悩みを調査。また、「働き方」、「ゴミ問題」など社会における課題についても調査。都道府県ごとに、どのような悩みや課題が多いかを数値化しました。

さらに、住民として「幸せであるか」による幸福度や、生活の満足度、地域への愛着度、定住意欲度についても調査しています。

SDGsの16のテーマ

※各項目ごとに住民の悩みまたは社会の課題につながる複数の項目を設定

貧困	技術
食糧・農業	不平等
健康・福祉	都市
教育	消費
ジェンダー	気候
水・衛生	海洋
エネルギー	陸上
経済・雇用	平和

(パートナーシップを除く)

住民の悩みや課題を数値化

住民の悩み
(50項目)

社会の課題
(50項目)

何が強く影響しているか分析
施策や目標値設定につなげる

幸福度
生活満足度
愛着度
定住意欲度

住民として地域を評価

住民の視点で、生活環境と持続性向上のため
悩みや課題、幸福度、定住意欲等を数値化

※SDGsとは

持続可能な世界を実現するための開発目標のことで、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています

都道府県結果との比較

地域ブランド調査を実施しているブランド総合研究所では、全国で初めて全国都道府県の住民(居住者)を対象とした大規模調査を実施(都道府県からそれぞれ約350人、計16000人が対象)。今回の市版調査では、各市の居住者による、生活環境や地域の持続性を調査。全国平均・都道府県平均と比較ができます。

定住拡大につながる目標値の設定に活用

住民の悩みや社会の課題が、幸福度や愛着度、定住意欲度などにどのように影響しているのかを分析し、そこから、住民視点での生活環境、社会環境を高めるための施策や方向性をまとめていくための指針としてほしい、それがこの調査の狙いです。

報告書の構成内容

内容は一部変更になる場合があります

総合報告書

調査対象となった政令指定都市、中核市、県庁所在市の計83市の結果を冊子にまとめたもの。基本的に調査対象全市の106項目の結果データを網羅しています。

そのほか、調査項目ごとの分析や、定住意欲に影響のある要因分析などを行った結果も記載します。

体裁： A4判、無線綴じ製本、70ページ程度

内容： 第1部 市版SDGs調査とは(目的、設問、結果概要等)
第2部 基本指標(幸福度、満足度、愛着度、定住意欲度)
第3部 住民の不満や悩み(全体および83市の結果)
第4部 社会が取り組むべき課題(全体および83市の結果)
第5部 調査票

※ 内容は一部変更になることがあります



個別レポート

お申込みいただいた市の結果を、グラフ等を使って分かりやすくまとめたレポートです。

回答者の属性(年代、男女、婚姻、子どもの有無、住居、勤務、SDGs認知など)によるクロス集計の結果なども記載します。

※貴市以外の市の結果をご希望の場合は、追加料金(3万円/市・税別)にて作成いたします。

体裁： A4判、簡易製本、16ページ程度

内容： 貴市の基本指標の結果(グラフ、属性クロス)
貴市の住民の悩み結果(グラフ、属性クロス)
貴市の社会の課題結果(グラフ、属性クロス)
住民からの自由意見(市のいいところ、課題・改善すべき点)
※ 内容は一部変更になることがあります

調査対象の市

調査対象は、政令指定都市、中核市、県庁所在市のいずれかの条件を満たす以下の計83市。

札幌市	富山市	和歌山市
旭川市	金沢市	鳥取市
函館市	福井市	松江市
青森市	甲府市	岡山市
八戸市	長野市	倉敷市
盛岡市	岐阜市	広島市
仙台市	浜松市	福山市
秋田市	静岡市	呉市
山形市	名古屋市	下関市
いわき市	豊田市	山口市
郡山市	岡崎市	徳島市
福島市	豊橋市	高松市
水戸市	津市	松山市
宇都宮市	大津市	高知市
高崎市	京都市	福岡市
前橋市	大阪市	北九州市
さいたま市	堺市	久留米市
川口市	東大阪市	佐賀市
川越市	枚方市	長崎市
越谷市	豊中市	佐世保市
千葉市	高槻市	熊本市
船橋市	八尾市	大分市
柏市	寝屋川市	宮崎市
八王子市	神戸市	鹿児島市
横浜市	姫路市	那覇市
川崎市	西宮市	
相模原市	尼崎市	以上83市
横須賀市	明石市	
新潟市	奈良市	

※人口によって、回収数が100人に満たない場合があります。

※上記以外でも調査希望の市があれば、同じ条件で調査を実施します(費用は同額)。十分な回収数を確保するために、住民台帳などを利用しての調査も可能ですので、詳しくは担当者までお問い合わせください。

【調査項目】住民の悩みと課題に関する100項目

住民が感じている不安や悩み、社会に対する不満や課題などを、SDGsのテーマ(17のうちパートナーシップを除く16)ごとに整理・抽出しました。調査項目名は、169のターゲットをもとに、近年の話題や各自治体の施策テーマとされている項目などを加味し、「個人としての不安や悩み」と「社会が取り組むべき課題」に分けて、各50項目計100項目を選択肢として設定しました。

【住民の不安や悩み】

テーマ	選択項目	テーマ	選択項目
①貧困	低収入・低賃金 貯蓄・投資 借金・ローン 相続 物価上昇 税金・社会保険の負担	⑤ジェンダー	男女不平等・女性活躍の場の不足 セクハラ・性犯罪 いじめ 孤独 家庭内不和
②食糧・農業	栄養バランス 食物アレルギー 家庭での食事の崩壊・個食化	⑧経済・雇用	赤字経営・経営難・資金不足 企業倫理の不足・マナー違反 就職難 働きがいがない
③健康・福祉	体調不良 持病・難病 生活習慣病 ストレス 花粉症 食物や花粉以外のアレルギー 運動不足 交通事故・怪我・後遺症 介護 病院・医療施設の不足 害虫・有害動物	⑨技術革新	技術革新への対応 電子化・ITスキル不足 情報セキュリティ・個人情報漏えい 情報過多
④教育	受験・進学 学力問題 不登校・ひきこもり 育児・子育て 家庭内暴力・虐待・非行 社会人教育・学習	⑩都市	電車やバスの路線廃止・減便 渋滞・混雑 交通安全・交通マナー 地域交流・町内会活動 その他 不安や悩みはない

【社会が取り組むべき課題】

テーマ	選択項目	テーマ	選択項目
②食糧・農業	農林水産業の衰退 地域食や伝統料理の希薄化 遺伝子組み換え食品 食の安全・安心	①都市	都市イメージの悪化 高齢化 商店街の疲弊・店舗の減少 行政サービスの向上 空き家の増加・ゴースタウン化 老老介護 地域文化・芸術の消滅 治安の悪化
④教育	人口減少・過疎化 少子化 いじめ・校内暴力・学級崩壊 未就学児保育・学童保育	⑩消費	商品表示・産地偽装 ゴミ・産業廃棄物 資源リサイクル
⑥水・衛生	水不足・水質汚染 感染症の流行 悪臭・異臭・有害物質 騒音 排気ガス・大気汚染	⑬気候	自然災害(地震・津波・台風・竜巻等) 温暖化・異常気象(猛暑・冷害・豪雪等)
⑦エネルギー	再生/グリーンエネルギー 省エネルギー 森林伐採・緑化問題 原子力発電・放射能問題	⑭海洋	海洋汚染 水産資源の枯渇
⑧経済・雇用	経済の停滞 働き方改革 企業コンプライアンス	⑮陸上	家畜疾病(BSE・鳥インフルエンザ等) 外来生物・生態系の破壊 動物虐待
⑨技術革新	新産業・新市場の創出 電子決済 知的財産侵害	⑯平和	詐欺・盗難・犯罪 世界平和・国際交流 国際犯罪・テロ対策 その他 取り組むべき課題はない
⑩不平等	格差社会 人種差別 障がい者対策・バリアフリー 性的マイノリティ		

【調査概要・調査項目】

- 調査名： 市版SDGs調査2020
- 調査方法： インターネット調査
- 調査対象者： 調査パネル(約450万人)より、対象市の居住者(15歳~79歳の男女)を抽出
- 回収・回答数： 総回収数は約16000人。各市の有効回答数は100~200人以上(一部市を除く)
- 設問：

基本指標： 幸福度、生活満足度、愛着度、定住意欲度、SDGs認知度、投資経験の6項目
住民の不安や悩み：①貧困、②食糧・農業、③健康・福祉、④教育、⑤ジェンダー、⑧経営・雇用、⑨技術革新、⑩都市の各テーマに関する評価項目を計48項目の他、「その他」「悩みはない」を加えた計50項目
(低収入、生活習慣病、介護、育児・子育て、セクハラ、サービス残業、渋滞・混雑、電車やバス路線廃止等)
社会が取り組むべき課題：②食糧、④教育、⑥水・衛生、⑦エネルギー、⑧経済・雇用、⑨技術、⑩不平等、⑪都市、⑫消費、⑬気候、⑭海洋、⑮陸上、⑯平和の各テーマに関する48項目と「その他」「課題はない」の計50項目
(食の安全・安心、少子化、騒音、省エネ、働き方改革、人種差別、都市イメージの悪化、海洋汚染、詐欺等)

住民からの自由意見：市のいること、課題・改善すべき点
回答者属性：性別、年代、居住地、婚姻、子供の有無、住居、年収、投資経験
調査の詳細は、特設サイト(<https://news.tiiki.jp/SDGs2019>)をご覧ください。